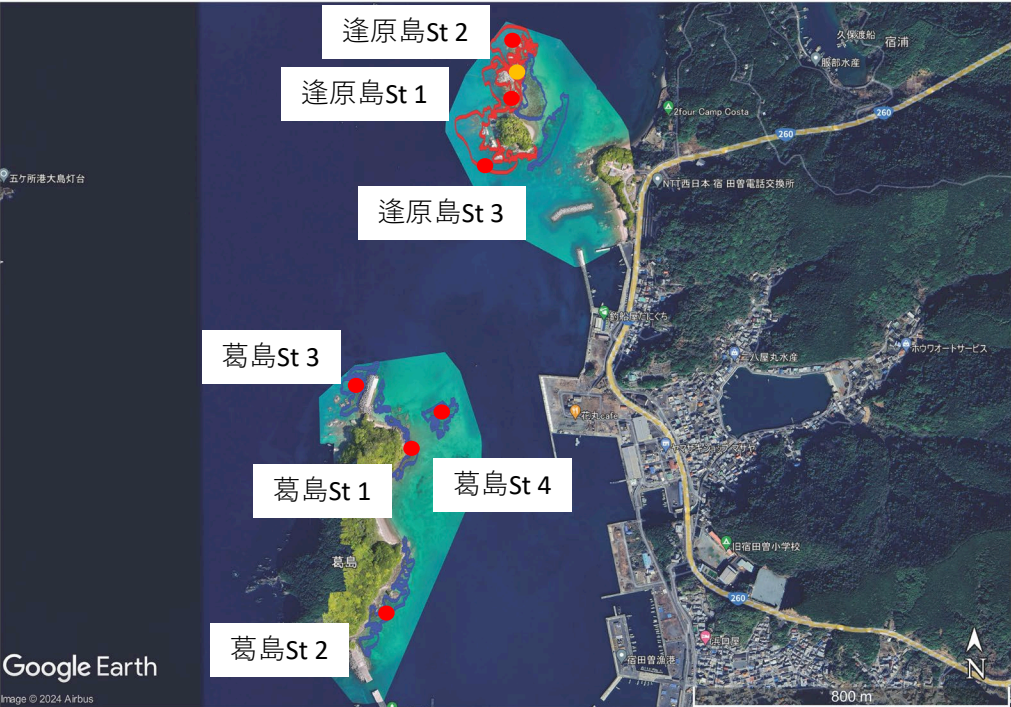


2024年度ブルーカーボン量（面積）  
宿浦 逢原島・葛島

ドローンによる空中写真撮影（2024年5月5日）  
WebODMを用いて空中写真よりオルソ画像を作成  
エクスポートしたオルソ画像をGoogleEarthに貼り付け  
藻場縁辺の判定、ポリゴン作図により面積を算定

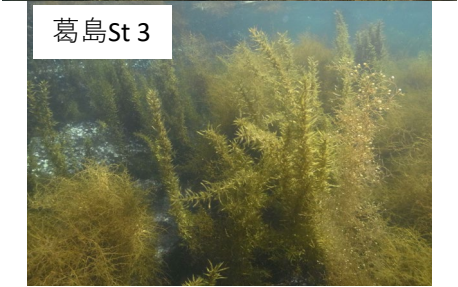
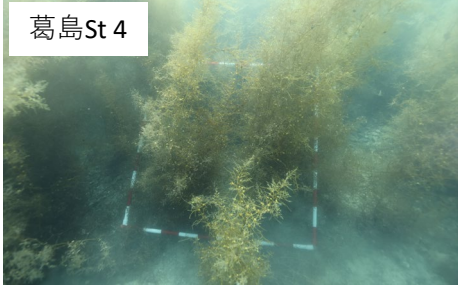
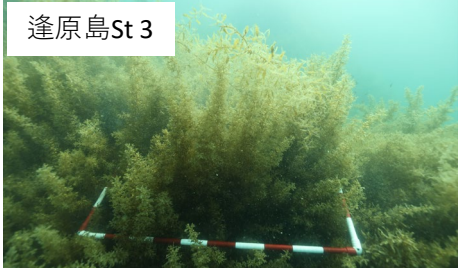
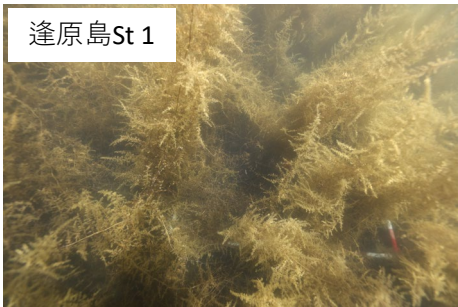


凡例		面積(ha)
○	マメタワラ（被度95%）	2.4439
○	マメタワラ（被度70%）	2.9431

- モニタリングポイント
- ツボ狩りポイント

【面積に対する確実性評価について】  
対象面積内は起伏が激しく、水深1m-5mまでであるが、算定した対象面積は平面と想定されている。そのため、実際の面積に対して過小評価を行っていることから、面積に対する自己評価を100とする。

潜水目視調査による生育海藻の把握、コドラート調査によるの被度の把握、生育海藻の湿重量計測（2024年5月20日）



生育海藻：マメタワラを優占種としたガラモ場  
被度：95%または70.0%  
（面積算定に反映）  
1m2当たりの湿重量 8.307kg

対象面積（実勢面積）	= 面積合計 × 被度 = 2.4439 × 95% = 2.321705 ha	対象面積（実勢面積）	= 面積合計 × 被度 = 2.9431 × 70% = 2.060170 ha
合計		2.231705+2.060170	= 4.381875 ha